行

那分交股行條第木廠司律司

號明優算並 息票擬豆黎公歐及此先 註一摺時招結城司美北項股一明本此每洋豆外辦各

綱分各支股五者個一油工免品公五股局外萬聽月萬以廠仿對

所作以用净元亦再二及一造泰

起票收票購本造巴限在

#### 行群勝德

(到

白



造花睑林

不

售同馳露

銷近名水

久之

己花

中其

較香

商

仁記

壤包

路馬大界奧在局分津天

售老美孚煤油零整發莊東安門

信

認為第三看

局

THE THE THE THE THE THE THE THE THE THE



欲英係

海如誤有紙

业整理中華火燭保險公 即何林及各等木料俱全 即信格外克已或批或買 即信本行賬房或請到前 即后本行賬房或請到前 以方本行賬房或請到前

一查官干一換爲元物內本開

願收十切司百其給公並一之利 股地分費年今未收股銷各會 李夏張張 者方五外付改收條本內種枯 煜循人 適均荣鑑 石坠静炎 乞在爲所官新之爲分地機葉本 曾仲江如

> 〇李清六分所股或佈本另宜商案 一案銀分爲收本資告分議之標— 14 取行五公股應本股兩妥地、切

**全**香孫訥

誥賓鈺祕 召竹幼楼 臣林香庵

熙藻誠韶

军载伯登

助毓朗那

知道欽

監國攝政王鈴章

九月初三日

九月初三日

理藩部

廂藍旗值

陵回京請安

胡思敬遞封奏一

召

見

0

宮

門

鈔

0

諭開缺湖南岳 **助銃朗那桐徐世昌** 員記名簡放欽此 軍 常 軍機 道熙植著仍 大臣 署名奕 以道

### 旨

監國攝政王鈴 九月初三日

諭旨不入八分輔國7 諭旨資 並開設兵工 監國攝政王鈴章 昌 軍機 政院奏開院立 敬陳感激下 要機請 署名奕劻 公憲章 忱 奉旨訓勉代 陸 毓朗那 摺知道了 **勉代表全院** 大臣欽奉 寒甲學軍械 奏軍學軍 署名李 桐徐 欽 欽此

#### 論 0

#### 憲政編査館覆核 請 旨交議摺 報

至原律 限制保 即分別 情形 之檢查非出版前 **惹政編查館獨核具奏欽此由軍** 奏爲覆核 應行修正者 大臣欽奉 押及 酌量 查原 草案加具按語 鑒事宣統二年二月 增改 諭旨民政部會 此外 如發行及記 旨交議 補益之處亦 定取 於發 早 復體察現 -裁判應 施行

內閣 管衙門 **遂使官民之遵行多舛茲旣將報律** 社會 **亦應懍遵國法** 果能濬瀹新 節均屬扼要凡 採 等蘇 旨交資政 質治 之原 項均應背 具青單照章請 條庶 定

表輿論之功所 此 十三日 鑒謹 諭旨 旨交議

### 0

### 憲 部修正報律條

吸書應即於次回或第三回發行之報紙更正或將 卒滿二十歲以上無左列情事者得克報紙發行人編 銷誤者本人 或關係人 聲請更 正或送签 更正書 **省督撫及民政部各一分** 易以前以假定發行人之名義行之 **心藏事章** 輯人印刷人 **保押费如左** 所及印刷所之名稱及地址 左列各款於發行二十第一條 凡開設報館 **松紙應載明發行** 部或本省督基咨部存案 第七條 山內重 毎月發行三回以下者銀 人釈充 後未滿三 編輯人及印刷 行星報 第一 程圖表及物價報告等項 凡開設報館發行報紙者應由發行 第四條 每號報紙應於發行 年者 得 胚該 拟 登 條所列各款呈散後如有更易應於二 珀群原文相同 更正書辨駁書 更正或登載更正書辨駁書 一每月發行 一精神病者 人編輯人及刷印人之姓名及住 第三條 發行 發行 之性名 日前呈由該管官署申 存查 八有更易時在未輕呈報節 四回以上者銀三百圓 一名稱 八應於呈報時分 百五十四 履歷及 編輯人印刷人 二處監禁以 川運送該管官署 **者免職保押費** 第六條 體例 三發

八成關係人 金城錯誤事項由 之請求若見該報更正或登 到難知後十

五條條 經公布 害他人 稀以者五 十第元 及下之罰金 是银不贯着此以下之罰金 是银不贯着此以下之罰金 是银不贯着此以下之罰金 是银不贯着此以下之罰金 第十九条政下之罰金 第二十一條 第四條第二十一條 第四條第二十一條 第四條第二十一條 第二十二條 建第八條第一十二條 建第八條第一第二十二條 建第八條第一第二十二條 禁止狂載者報紙 費 切公文書 在中國舞 丕

八以二十日以上六月以下九八以二十日以上二年以下之監禁第二年以下之監禁第二月以上二年以下之監禁第二月以上二年以下之監禁第二月以上二年以下之監禁第二第二第二第三款者 處該及

無第 不滿二百 前 為公司 按賄託 項 連 日元仍成二百元以下之間金 所 所 に 者 該 所 が に 者 該 所 が に 者 該 所 が に 者 ま 所 に 者 は の に 者 は の に 者 は の に 者 は の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 之罪除涉 及私事者 益起見並無惡意者得免其 十圓以上二百圓以下之間 外若被

> 從重之例 律各 既法院編制法及其 作施行以前發行之報律即行作展 第五條 在 作施行以前發行之報紙所繳保押费較具與本律 定不符或按照本律無免繳保押费之規定者應於 定本條就原律第一條酌量修正該管官署 律施行第二條 方哲照舊例辦理 内 第四 另 马有規定者至新刑律施行之院有例第一本 **加理** 第三條 完他 法令審理 領選 维

大大條就原律第三條酌量修正原律有發行編輯得 整正原律凡母處監禁以上之刑者均永遠不得充發 整正原律凡母處監禁以上之刑者均永遠不得充發 整正原律凡母處監禁以上之刑者均永遠不得充發 無與事質相符 第二條按本條就原律第二條酌量 府並立凡在京師內外城開設報館者自應分別 城巡警總殿呈 省督撫咨明民政部存案查京師內外報民政部或本省督撫咨部存案一節巡警總殿呈報茲改稱該管官署語意 質相符 第二條按本條就原律第二條直接申報民政部毋庸由督撫轉客茲加民政部直轄凡在內外城總總是報之件 加修正 件自 城巡警

呈請免繳此端既開將使辦假者相率避難就所載率係問巷瑣碎之談而業此者板藉口開官鑒定毋庸繳變之規定查此種小報多無價 條仍原律第四條之舊惟金額比原律所定減少五 之二傳譯措較易則樂從者 律第二項有 人兼任等語係屬簽設茲從刪節 宗 宣講白話等報確係開通民智者 未備而實不敬之大也各國立 多馬不 **通民智者得由** 失提倡之道又 第四條 開通民智 杜鼓義 易基出 滋 流弊 其 得

附第

條係周

+

时因根律初壁一切破壞相當之條文原律施行之那一條 按本條定施

栗之伴管轄權為原律所無茲照原日為施行之日 第二條 核本條現在報律頒行己人改用部律無須種和陞一切敬僱尚多未完於特寬

規定之事新擬遷律單草

來即己

欽定頒行

**技本律第**十

**峰及第十** 

條之規

特設規定義與原律

第四十五件同

第四

項第二項所定處分即應此

條大意係仍原律第十三條之人名譽及信用意義似較販括 治又顛倒是非字樣亦無一定之標準茲改爲損害他 設專 改 為坊 技本條係原律第十二條 第十四原律第十三條之舊惟於文詞酌加條用意義似較販括 第十二條 按 以受賄挾嫌成立此與之要件

爾人印刷人者另有詐稱合格情事亦未便置諸不 解人印刷人者另有詐稱合格情事亦未便置諸不 解人印刷人者另有詐稱合格情事亦未便置諸不 解原律问 第二十三條 按本條係仍原律第十七條內析出所定 於不納保押費者之制裁原律漏未規定茲特增入 於原律以被害人是訴為處之要件查此項犯罪亦 以與發行人同一處罰 第二十條 按本條係 二條內析出所定處分與原律相同 院章於會議事件意係仍原律第十三條 # **熙禁處分獨有異例質與全律主義不符日本舊新聞之中寬定等差以便審判官之臨時酌度原律於此項** 輯人印刷人若另有詐稱合格情事亦未便置諸不体於此項犯罪專坐發行人自係明定責任之意惟內於出原律處分變輕茲改與不行星報者同罪又以便省覽 第十九條 按本條係從原律第十七 告訴也茲酌加 為率最重與 **加併而成原律此條監禁處分** 查呈根不實意存欺詐情節較重其處分亦當視不原律於不行呈報之處分重而於呈限不寔之處分節十八條。按本條係原律第十六條及第十八七條。按本條係原律第三十八條惟攻詞的加改 一犯罪而情 呈報者爲嚴方昭平尤茲將兩條處分互易併爲一 七條 按本條係原律第三條定連犯處分之法庶與本 漏茲析為兩條先以本條定發賣數布之禁更於三例又所定處分僅止查禁銷機更無他項刑名亦似 例又所定處分僅止查禁銷繳更無他項刑名亦例係先列行為後定處分原律於此項犯罪獨不 議自應遊依法令 茲從哪節 之差多以 按本條係就原律第二十三條似此分別辦理較原律規定似更涉一切公事者而言第二項指揮 最輕之差僅止四倍查 區別將 輕重萬有不齊即不得不於同 倍為限此係近世各 班理較原律規定似更周宏事者而言第二項指關涉個人區別將原律此條折為兩項質問制的原律與條例為兩項質問 條之舊查新定諮議局章程資 辦理 二年以下之禁劉茲 雙括面成原 律罪止 二年 按本條 定 入 政 

倘 一款之 燄 除第三十九條以法律有明文者以法律有明文者以 或停止致: 條 按本條為原律完減收點數值費即予數 條規定者並係侵害二至第十五條所出 改而 律條 作所當態而報紙監督: **電第三項溝原律所無** 之文爲第三 成原 - 五條之後有日本條係仍原律 兹拼 + 定處 **市野送週發之文此為郵** 是報或更正以前禁止發 類局概不遞送輪船火車 與局概不遞送輪船火車 **伊所無查應數保押費之 妆本條與第十 伊第三十四條之舊 伊第三十四條之舊 伊第三十四條之舊 伊第三十四條之舊 伊第三十四條之舊** 体與以同 **密之罪性質相** 第十六條相 按本條為原 被專業公益 此限但第 春日神及 郑完窑 同即 而養 2

本銀行奉 **开**数週息四盤定期存 外中年 ·旨設立由度支 借押各数量

下 图

年週息五登長等

近交易併此告白西交民巷

北京儲蓄銀行啓記

桂省諮議局員全體解散一案 昨日資政院開審查會股員士 四不得已而解散不得謂之員爭執此案電文往返己逾一月無法挽 以全體解散爲要挾此風不 前部議局 因反 抗督撫之故而 八人均到其所議 之說有三〔甲〕 ▲資政院審査會記事 按此說有人駁之謂桂省議 回國云

此條文[丙] 潤資政院章程第一 背法律等事得呈由資政院核 本省 督撫有侵奪權限或違 解散施非無故不赴召集且解散僅 十四條有云各省諮議局如因 解散亦與此章程違背 此說亦有多人駁之謂此係不得已而 兩日並非屢催不到會該議員尚未犯

**普通議會之報告** 定該推定孟昭常汪榮寶許 照去年該省諮議局 原案 "理不得 **鼎霖三人為起草員** 俟今日開 員即日開會不得解散此 **反开**一面仍電該的諮議局各 事奏問請 法律之條文相符 應遵照院章 將此 旨並電致柱撫仍 議既

# 倫總裁整頓資政院 ・

節業已喧傳京外茲聞 倫總裁以該 昨報揭載 資政院秩序紊亂各 預•聞•

京將於西十月廿四號回日 頓整於立 憲前途大有防碍現 已規 聞考察海軍大臣洵貝勒等有電到 本 遊東京佐世保等處將於 西 定改良辦法不日想可宣布 月十 一洵貝勒行旌預報 ・ 號由長崎啓行

妖為各致無備軍官 將各省綠營一律裁撤即將該 議案首列此案云 遇有緩急實不可恃疑决定 鎮 所存 軍實 册籍僅敷數日之用 時一無準備即如子彈一項 檢 陸軍 部底尚 書以各國軍備平時 在平時常作戰時計畫查東西各國現在 一分充足一遇戰事不必另行籌備蓋雖 ▲ 陰尙寬儲軍備政見 ・ 之用此夫的

將屬于內外兩處丞計共分為 南區北區東南區東北區西南區西北區 其所派 區長 皆係何 人俟探 明再錄 聞民政部所定四郊巡警辦法仍 ▲▲四郊巡警分區已定 (字)

反汗展限封禁膏店顯與侵奪權限違背

議局去年議案己定而該撫張鳴歧忽然

日今桂省豁

**辨此核辦事件若審查屬實得由總裁副** 

案業經辦結茲聞兩大臣 廷林兩大臣前次查辦黃祖語一 廷寄查辦胃襲世職一 一廷林兩大臣査辦冒 襲世職案 尚奉有

案 復將次着手云 ▲▲奉天鹽運使有棄權

監理財 政官時 曾建議 以奉省 向辦之 新簡本 天鹽運使牌希齡前為東三省 銀行之歌

院開會伊始爲全國人民所觀瞻非切實 官銀 理之說 爲總辦嗣以政府不謂然現態使 至奉天故銀行事有即歸能 行錫清帥初擬舉鄉華 號腐敗擬全行收

郵傅 初三日抵天津大約略為 切卽爲來京云 **部尚書唐少川** 唐少川抵天建

則頗 有是來 難磋商的 不受迫促 誌報端昨聞該處 巴達維亞各 是兩國素敦睦誼此項 熟 商 辦 法 務使係 「僑商 呈請・ 不京並有公議之條 **迫令僑民入籍** 路以慰僑情也 **妈明晰大約外務部** 

設法維持請示遵辦等語度支 各省均有 悉當必有良法美意以善其後也各省均有財政監理官耳目實施 金融界 **町閉商情 危险** 來京稱該追

昨值日 郵部 總理粤路 三章亦 經全路 股東認 可均見佑京卿京卿曾一再辭謝不養養 時已經出奏派詹 谷堂見全粤輿論所歸城 粤路總理已派· 一席衆股東へ 旨依義

定親往 呈遞云 此次上 內卽上第二次 請願書己見各報聞 各省請願國會代表團 擬定日 監國之書各代表决

·德駁俄報三國聯盟

之事將次聯盟一說此地德報皆 捏造以感動衆聽耳云 **山柏林來電云 德美清三國** 因關於遠東 ▲葡亰有亂。 俄國斯拉夫報近 此言為該報所 爾

晚本 館接到 由歐洲 發來之

京北淸河貨物轉輸必取道城卡近聞該 **唯放行己經該公司禀蒙陸軍部轉咨核** 點必欲令如他貨一律完稅站 自來 部奏辦呢革公司係為供 按各國維持商業嘗有於出口熟 和反 行獎勵補助金者與我

鈴路極不暢旺聞每日須售水三萬擔 夫不可故自

# 一請願國會書親往

年只數百

日吉撫電請

西陵來京

#### 本京新聞 0

各政為京

件得暢用。陳油而與各新碟油畑公司宣佈云擬於歐亞煤油此事前列之位云 比事前列之位云 以為德國將有飛艇隊以几月初二日路透電

油油公大

有飛艇隊以奪

電

氏種族作亂並請其轉達各該國府告俄英使館云廢王現主使上放斯監國云 加斯監國云 加斯監國云 與斯監國云

定人

是強達有大益於中國民權訂立日俄協約云程的應實星之實並受 所有歐出港外云 所為二十五萬磅 所以有歐洲貨物值 所以有歐洲貨物值 照主者所

# ●九月初二日

來京 傳治員外郎保衡

苦救问胞將來必爲全球醫界中之偉人可敬可賀

幼飴頓首

即此故候

財安并賀大喜 正月十七日全椒薛

次足見此藥之功效如神 曾藥房主人熟心濟世

义有人至申又託其購一打至今年已數月未發一

而得去年正月間適友人至申託具購 實際房自

有自來血一樂鄙人思此病之起緣皆由血氣不足

血之症每月必發四五次前閱報章得知

貴樂房

五洲大藥房諸位先生惠鑒鄙人三四年前得一便

來血牛打如法食之至九月不過總發七八次十月

治痊痔患漏血之保證書 漢口中西日報主筆王君痴梧

謝外特專函再謝 造自來血答之友人日凡事無徵不信今有徵矣現 過馬所有衣服無一未汚以致面黃肌瘦脚酸手軟 有月餘未見之友人見鄙人身體精神非如從前之 **添已覺應驗後四敖服靈而十餘年之存漏竟然全** 牌人造自來血為藥中豬血墨品逐令: **基矣且义不見別生他病可知自來血誠聖品也前** 漢口中西日報主筆房王痴梧頓 食藥房造此聖藥之至意並候 叛四叛照法服之服至二叛略 人至黃陂街

天津中國 石聘之君立 **松肚大** 

廿世紀大葉 月報主筆

**普聊伸愉忱並告學界賭子** 大馬路德仁里六弄志强學 **熟之症服多方均不見效自** 主數百萬言一人精神有限 於人之以思慮致疾云云 **地程模問日報支模報藝**島 後其病如失精神倍增仍能 作大江南北久噪文名麗在 界中莫不知有此君其為

此表名

叫悶克馬表

爲記每瓶加附短認眞券是值洋一

角庶不致悞

售

**地瓶二流海有打計就託局函購原班回件海內諸君如蒙惠爾** 

上洋北

克比加試者 固氮蹇数所歌四供戲 順以公零不駕客久可上倍唱舞樂多片 和廣道臺取臨愛用鯧更且一么注演較 並招格批分小顧無其際嚴聲色操唱前 各條外營文行曲傷物響片比俱結格京

**小超蹄** 曲等牌 **時名留** 調角聲

七號 M.

克天己津 **座均** 東用 大領 家可另安設各項響聲之鏡均隨

河

所 對四 門馬 路 者

發 行

總

海

遇

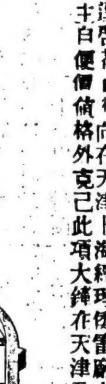
五

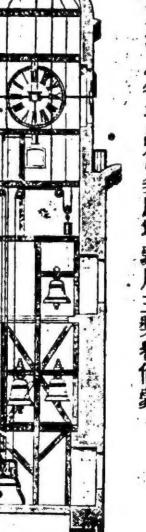
胀

大

保症書

廣行洋華





亚 例

內總布胡同內路北

間路南電話總局 子美美 崑製國

愈便血之保証書 安徽全椒榮祿第薛幼飴君治

明州童君愛棋著作等身生

二一號總經理者晉隆洋行啓 西門 外 小 將 家 却 后 派 师

信旧

起北全東四至東安門外

廉額外克己凡士商賜碩者須臨敝號面選是爲至時

盛宮保快壻法部主事馮崑圃主政函幷照

**養追悔過恆及至夏末秋初忽覺手左麻木夜不安眠翳家河南河北道因病致仕鄙人朝夕侍奉席不暇煖衣不解帶中法大樂房主人賜鑒鄙人少多疾病氣體素弱中年以後** 

文稱南級店廣告

人 南 纸 文 下 學 情 紙 文 下 學 情 無 具 名 堂 丁

所頂人應本 不上字用專

昌

此次由日本聘來鐵筆家篆

水晶寶石各種圖章 以里一好

南紙店

文明書局

商務印

上德義字畫店

地安門外為

北京琉璃廠作

新社 教育品社

院

成未經齊配過而買者現本院每早九點至三點完合配。馬金在外 現本醫士每日專爲查配服香。諸君有欲配鏡療目者請至本醫院。或有旣處也。各王府貴宅久已願名。於去歲骨有係是中光展光等雙貫命包令如果飯杖。對物

非女配便

眼不進入。鏡龍眼也,院五不

· 廣南上奉江通鶴天天天本 |州洋海天西州州津津岸京

報

<sup>按</sup>月大祥元角 等月大祥五角

不作程 所大祥一知二角 所大祥一知二角

月等字每日大洋

館

處派代報本

白

第二日至中月毎日毎中大巻一日毎宇大洋五厘

告

醫許奇法戒煙三天斷穩顯聯

了家書樣本每册六角 發售處 可触欲脫煙霞癖者請即移玉相 照質强弱三日即可斷戀樂性精 完好法會在南省及津埠等處斷 多用中西醫理佐以母化推陳出

主要事業

北京總經傳建剛們於華美大事馬及各埠大事馬均

尤為我四萬萬同胞慶得回生之術也特此鳴謝敬請

奇自此丸出現不難令我四萬萬同胞共登壽域鄙

滿百日不忍遠遊因告知

貴藥房所製日光鐵丸最為補

一月已覺還我面目

受再造之恩私

家岳盛宮保赴東就醫本

十餘日果能手足靈敏神志安甯未滿

血耗病之由來職是之故其時

**副社長** 總局所在地

縣縣縣縣縣

秋田縣

山梨縣

支局

所

福岡秋新兵井山田鴻庫縣縣縣縣縣

愛媛縣

宮崎縣

Manager and the

知城田入島

岩

彌

麴町區八重洲町 小彌太

相方鯰新高

**設實土理清** 中月以後正一千七百五十兩正已交定銀十一十五天五尺各

四馬路東惠福里國粹學報館內南四馬路東惠福里國粹學報館內南

京琉

水中

○國學保存會報告第四十七號

六月

三日

只收三分之

日不息凸凹

製百里

民

心

惶

惶

等

判

廳

處高等

Ξ

首

一民刑

尙

七百

法·

八百

遍

地

落

後

只

案北

電示

祗進家元印

廟

並

際洪

酒。噪。欣。此。魂。一。若。湿。不、以。偶。蜓、鹎。拾。潔。荷。閭。有。盡。似。坦。堪。以。 然、蛇。蛇。即。此、魂。明。十。即。如。躁。之。如。舜。間。異。悉。庶。潤,知。渠。 酬。雖。則。此。種。蛇。言。金。其。故。偶。返。雪。出。名。蛇。醫。干。石。爲。人。倫。蝦。以。與。 金。以。功。金。類。也。所為購。語。甲。忘。富。表。暋。未。故。之。取。某。梢。功。然。中。南。還 囊。藥。效。還。僅。其。用為之。卽。大。詰。竹。專。覩。花。爲。寒、效。醫。治。用。種。人。從。魂 蛇。餌。稍。魂。知。類。吾。甲。請。詫。朝。籍。洞。草。著。效。疾。顧。世。瘋。至。賴。 顿。 古。蛇 去。出。蹇。蛇。有。絕。決之。。。。 二。稀。不知曰。觀。出。嗣。意。戲。蟠。隣。捷。藥。秘。醫。蛇,迴。其。吾。舊。先。比。以。則。以。揮。伏。某。初。酒。不。名。起。非。 遍。鲁、牛。見。告。蛇。示。以。小。 一。遍。胃。牛。見。告。蛇。示。以。小。甲。某。爲。傳。檀。爲。祭。翮。費。此。人。己。人。鍾。蛇。務。醫。良。雖。聚。 購。還。其。省。銀。蛇。釋。側。蜿。詎。因。瑩。

#### 各 聞

國琿 五 報 分所 由作 後籍並伯零之續者聞力件快

官欵 毎年 告將 久 **茲己調** 京卿在 不 方 次 費能 建約行築 省 冬 外垛 俟 障數 風 閱 築而錫 內 泛 命衆 免 督 所時 延 國 擱 茂 之 海大 圖 五作 地 狐 陸准多 曾爾未敬縣十城會所者出有責飭政文禾北。費馬領巡陸惟多據一須政华津屬耕被數種麥去由發金欠最里一賠每事民苗耕。銀配目官軍立缺貿銀際其給貼永水 

多被淹沒

麥們

**陽縣境內** 

國可

行

照

目

、役照日

駐留者

彩

廢

弛

事

聚斂阜陽

军

空

Ŧ.

村界

安

局

行息

兩為

尙

百

解

及

銀

警 省 練 上一庭縣項江別地地縣 曾爾 窜 明 司

> 八員下 所長二員檢察長 士二名檢驗吏六名穩婆三日 檢察官二員書 九百二十 員候補推 官 四百 Ā 候補 宋 發吏六 員書記官二員 員 名 八四名干 六百二 三百十 四員 名 記 地 四員檢 雜費 百二 警兵二 二兩承 記官十三員 名警兵二十 名 百 四百 百 發吏八 共役食 二員 官 一一員千 百 發 官三 官 百 方 三千 三員 -推 二兩 史二 官 名 恢 明号 三百 存為 三萬 籌江  $\Xi$ 復均儲 撥雷 守 請經官 築費 籌撥 百 核又 提約名 食

名醫

官

支

已設

Ti

等甯

於民

連右

女借

叉

定

将爾等

員雜 Ξ 自 兩為 光稅督欺• 分辦

指定應另 **公費二千** 三等 開 外 有 分請萬 定約 蘇園 三百 役兩 五所 員司 充作 百 獄 咨 支六 師 開 寫生 名 名 白 食 餘 內 支 師 百 課數六建應 收底自支兩職牌之 藍至宣部此局照數 照為 統奏次查捐再 五一年 宣萬減三千應 統四 成五 再 三 千 成 自支兩職牌之是兩電現宣部此局照數應年東經 數分撥牌 應萬月 土 東 省年兩廣萬 稅 定數 東 四省兩 開查牌 撥 年 Ξ 膏 册 六兩 預 西 收數應請將所捐土稅銀兩 出産上1ミニニー宣統元年五月テクロ原3毫一膏牌照捐一項 **有撥欵內各按數扣 報詳請按數照四三成五三成分** 二兩九錢三分八厘 N二年照額九十六萬兩域 N應照奏案按年遞減二成 應台轉電度支部電准續 三萬 毫銀五 成請定爲歲額銀四十 毫銀二十 月底止 乃底止廣東省得庫平京城兩自光緒三十四年上 毫銀二萬零四百六十 零二兩零 成定爲歲額銀六十四 十五萬五千 自 兩零三錢五 九百五 九百九九 照稅銀七十五百一十 十微七版

好之物

共

一百首各為交應刑萬兩縣設假沙初二

首

江省萬

照總

部

局

省亦毋

BORDENS

北

[京]

請乾各 至 果處

將加祗 之外應 所議 儘數 價牌 腳斤 所收土稅銀兩除各 稻 照捐 照 分撥兩省 辦法 撥偷兩廣 份屬妥洽應准 兩項 置牌捐照銀兩 等因袁 五百二十 四百兩 撥欵 省册 局 目 收照稅銀 多於土 第二年 支 稅 定 兩省 歲歲 等

#### 各國新 聞

**岩廠不下數十處其具大電機製造廠之一理** 白黑五零六年之縣乃不得不易投事行殿所出因公司之營業日為發達至千九一萬五千種如弧光燈及花燈等皆由是一萬五千種如弧光燈及花燈等皆由是 資於本千 燈廠電線廠及糗托車廠是也公司最 金五 國依 資本 百八 |製造廠在 今日是廠之面積約八萬九 八百八十 造電 百萬馬克公司 金增至五十萬馬克乃定名爲 燈之專權乃以二十 日己有實 一年公司之營業大 煙然其時規 每日平均約 和電紙棉 起新廠是 琴市 洛格街今是廠祗製零 一千五百萬 七年而始定者也公司 其最大者則為由熱 金 一現在公司所 之成 九百 七百 餘年間已為天下 街是廠有樓六層 - 工人約三萬四五百萬馬克又預 製燈五萬蓋 應用機件 螺釘等 日之名 不公司中 為發達此 五 己於千 司近 萬馬克資 白 計熟 自 碎初 最

已 逾出歲額 數應 國 毎年 第 年 年 年 年 不鉛始里錫製 廠落 占之 在阿 年面

故公司更將大加擴張的故公司更將大加擴張的地八百一十萬方密達公因其地適當鐵路幹線及因其地適當鐵路幹線及大小代那模模托汽密達及大小代那模模托汽密達及大小代那模模托汽密達及 故所出之貨能日就完 機凡可用電力以動表 公司於製造各種類 公司於製造各種類 如電燈電車公司必用之開礦器具及鐵路等之位 換智識而使所 過五千名於千 零五年其所占 零五年其所占 要造模托車廠 公司此公司得 家專製他項機件無線所能及 附屬於愛依 **著名之美術家** 固 因则

售

天津河北大胡同路東

東亞公司大樂房

粘之不結正再所明者處攻髮發得之不殊自焉問液憂幸婚是發問 夫流差藥者安可易不遭越我

同十採此僅於為博良內症發百這血含血得力便外則答着購其雜了情東一買兩服亞從士藥攻可作倍是補有補答肩最一面病這頭而功在一途亞元而種二細來哈爲外有凡之不身粘身花腰强日敷將正痛併效尿問留公小試丸星亞未即何驅良腔棚幸丸質丸柳手之間塗得是不服頗中我宿

一 放 矣 他 日 做

心思鬱結、 六盒十三元、 中盒洋 一元四角

寄售 北京大棚欄中西大藥房北京東單牌樓日華洋行 保佐 倡 北京屈臣氏藥房 保定職美

## 曲

温葵初 又奏各省秋春

又表試累咩倫道朱小濂愛琿道姚騙升請買捋摺

所請辦理忠瑞奏接護辦事 强奏接護辦事大臣篆務日期謝照所請該部知道 程德全奉奉到照所請該部知道 程德全奉奉到 思摺 詔書日期摺 知道了 又奏代遞辦事 知道了 大臣即

## 直隸總督 陳夔龍奏査 参各款

健上 知縣被參各數據實覆随 水忍堂 加查 搶黑風莊 搶皆係結夥持 案爲最劫賊 傍晚巡兵查 琳遴派安昌 局 案且 趣 縣孔九月 焚物 怎 44 節 軍 案城

### 泉 H

**查提始據繳呈充公此** 德源堂錢店撥 百 黎莪 二百元經 早放 禀懇罰銀二百元充改修監獄 係典史任金 月 各案 日被 兵官 自治 錢三百四十 \$ 文由 官局 盧洛 家莊民 能之孫 名 私之權顯係意圖訛詐 土鳳怡寄存煙土之象 亭村民人李於昌德於 **詐索馬資森錢三百四** 有戲被拘詐銀二百五 月 初間該縣張保村 月許銀四百 土二百兩 二百五

> 七日奉 分別 在同 審 擬辦所有查明知縣被參各款並 廟官 方所罰銀錢先己撥充巡 罰犯銀錢有逾定額亦未便以罰 招覆陳伏乞 皇上聖鑒訓示謹 奏宣統二年八月二十年晚免究追未接各欵接任之員提充地方公用各案盗犯供飭

## 御史路士桓奏直隸饒陽令徐永 **棨醸盗殃民請 飭査舞**摺

張保村廬洛能之孫因看戲被莫敢誰何故拚案累累並無一飽掠未去並不立往勦捕事後 盗衞民乃可異者本 家莊裕昇當局被搶五月間千名莊常秉乾家被搶亦皆白晝刦掠刃炎燒房屋村民驚竄一空又有官亭村李德昌被劫於下橋劉家莊李而同日高口村孔洛矩家被搶隄上村永忍堂黃姓家被搶黑風莊劉 吏治吏治之重要者莫過於親民之官奏為貪風日熾釀盜殃民擇尤糾參請 羣聚吸食其弟徐永 竟年 詢該令竟忸怩其詞談爲典史任金壽所爲官亭村 寶森家僱工人捏指 熾釀盜殃民擇尤糾參請 **奠叉在該縣城內田姓士娼家大開煙賭即即煙賭公然無禁且該令煙瘾甚深不遵章 搶盗風之熾可知該** 一日之內該縣並出 一起破獲圖境民情洶懼闆里騷然而該令則 犯賭詐索馬寶森錢三百四十千 勒限嚴緝且多方諱飾因之賊益院常秉乾家被搶亦皆白畫刦掠刃 **城銀二百五十元趙市村王朝** 案羅織敲索銀五百兩因 流而該令則毫不 成益無忌公然 **物棟因案牽連詐職二五三該令則毫不顧恤方** 文由城内 中五月詐贼銀四百兩千名在**邓**各至了一个東昇祥德源堂錢店撥付有賬可憑經學董一本連詐城二百元經管帶退伍兵官孫慶銘過一毫不顧恤方日坐堂皇恣意敲詐舉其近事如一學不顧恤方日坐堂皇恣意敲詐舉其近事如一次然白晝持槍遊行市鎮捕役巡警交臂熟視 過付之 釋該令敲詐之詞動以煙賭爲由實則詐贓銀四百兩千名莊柳洛盛羈押一 一直和二十年人所竟致娼門如市當此水旱類卿其弟徐永榘幕友章姓門丁高

### 北京日報 第二張

九宣

謹奏 一國憲下恤民生所有貪風日熾釀盜殃民擇尤糾參各緣由謹繕,面按律嚴辦庶幾上中 國憲下恤民生所有貪風日熾釀盜殃民擇尤糾參各緣由謹繕,可勝言似此貪墨不肖情形豈容一日侈居民上使之蠹國病民應詩 飭下直隷總督臣,可勝言似此貪墨不肖情形豈容一日侈居民上使之蠹國病民應詩 飭下直隷總督臣,仍民窮財匱,朝廷方安撫殺輔之不遑該令以親民之官竟驅氏爲盜猶復敲骨吸饋誅, 榜摺具陳伏乞 皇上聖鑒訓示一足陳夔龍逐欺嚴查一面追城一一部水無有己時蘊毒長亂後患何一

法部會奏編輯秋審條欵清單

等職街吉等 僅令毆打 按罪名情節輕重分 字節去而官 額內新 **顿迭毆多傷致死斬候之案** 外委等項有 資考證而省 一職官(凡文武食俸祿皆是)犯一 重定擬質緩入於常犯册内辦理) **自職無任者不在此列)犯一應死百繁冗謹將修改條欵開列於後四等職街台吉額外外委等項有職** 重分別實級工 **矜與常犯** 一應死罪之下叙明如係貪贖敗檢及失陷城 又子孫妻妾違犯私 官 街台吉 臣等謹按從前官 額外外 安等項目節輕重 等人 文情 ·案犯應實者多將例內緩決可 八常犯册內乾隆十四年始另爲 义武官階有職無任並未食俸之 順實現嘉慶四年奏定章程官犯

· 阿爾亨	4十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		对同 员 结 贴 贴 型	開到開	開開開	開到開	開開開	開開 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	開開開 北東至 松野野	別分野		111					I				ПТ		
世 貨 開 神 快達二 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	三   三   三   三   三   三   三   三   三   三	, 大王至 5 原 到 開 不 8 転 転 転	が置きず	办式 不到開 千二	三十二 不不不	大 到開	<b>見た</b> 素	景	記事型	三支利北	e de la composition della comp												7
他们的 他們的重 用行某事 山野事	<b>基</b> 存件	カーカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	数 数 3.字主作	- 新 - 新 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第	停停停	大	序管	格 停 <b>停</b>	點 大 体 体	點平 傳	<b>與</b> 關照	明開開	原原原		: .			3					3
			5 .	i i						二點	TT SS S	動動動	型型 NO	<b>大型</b>									Ŧ
山客日 王黄陽 南草行	•	il i												<b>社会第二人</b>	はいる。	ルスの 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	が出土人	2.5 数點 元人					
			: : :							4上 11	開発を表して	開発ない。	開発を表現の表面を	明ではいる。	別別の現代を表現します。	が開発した。	がいませた。			y.			
天京等 津客日 受官局 老車行																	第一年	世界の記される。	開きます。	開開大點	開発している。	見開見 お覧当 合字手	<b>邦</b> 第
糖文年 油客日 至食調 水銀行			# *				3.									第二年 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	第 到 第 元 別 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元	対はない。	開門大點	開門開門	開開を対する	開東土	到土場
天京等 津快日 至客間	24 . Ž																一 第 年上 企	五五	7.7	<b>下</b> 排不	* = 不不 <i>不</i>	退其	事が
山北東 海京年 開快日			N N							開午上	ア開不開 九九 乱點	不不能	三	到開不	不開不	下到院 7 點點	野到照	到開	<b>停</b> 停不	李	序 停 傳 不不到 数 監	<b>经</b> 财本不	大海
至答問 第一章 開 第二章 以 第二	調料不不 かた 製助	ドラ 不開 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	不是不	不到開了	<b>下</b> 本 不 7	ジョン インション インション スタース スタース スタース スタース スタース スタース スタース スター	<b>上</b>	不不	不不不	不到 下 九 點點	大工学スト	停停入不不不	停至停停 不開不了	11.存 到既不 11.	等文件 不以不 不 是	「判別イ	不到	大一	三件不不	序停件 不不不	<b>体体</b>	<b>文</b>	五人
站場	<b>基</b> 傳修	当 九 夫 停 生 ヒ	序主停 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	點點 字四世/	学 停 停 停 停 停 付	发 缩 /	<b>20</b>	停停	停停外板流動	南山	10000000000000000000000000000000000000	停停停	作 1 作 A	是主体	产量化 物理技	型力 企 / 佐 / 7	学工	大	停停	本件件	<b>沙</b> 传	<b>一种传</b>	京和
名 站 美	<b>周</b> 余店	阿府堡區	福山子	子子 小尉到	子路河	古州不開到	可极山	出所  が  ボ  ボ  ボ  ボ  ボ  ボ  ボ  ボ  ボ  ボ  ボ  ボ	なり、	所爾	河河营?	<b>以</b> 山門州	<b>莊</b> 治型。	在 山 在	坊台阁	港沿	程準	建始新	<b>估</b> 村 市	位坊和	定内不不	定义 自 門里	
大野遊	盖大 上 作件	大字手 停	等 存 存	斯 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	件停停4	點點	點 學 <b>三</b> 傳	4 体	路	<b>點類</b>	序	修修修	本 第	<b>基</b> 基	是 點 等 体 不聞不		作 第		停停	(4) (A)	(4) (4)	140	
大		4.1						38 33		T.	4	<b>停</b> 体大	<b>学</b>	點	干品	出土	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14.	14.16	****		人	は、
																No.	1		不不	****	7 7	香香	
																		其名	<b>F</b> E	FEME			III.
) )								1 1 1					1	1					1	4	100		東 地址
	1 (1)								×							灵巫夫	開大點四十二點四十二	開大點	開至 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	開開 計劃 計量 計量 完		当時間	1
第十五大									×	<b>新聞報題</b>	(学生) 開発 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	開開開門	開生點三點二點	開封計	開入監禁	·	開出點	斯斯 学士 開制 開 本 二	開金點之	開門動力	型型 對 九	三島の大	・
第十五次第十七十										<b>新国际和西</b>	解される人	開展 附	開き點言	開生工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工		元 第二點   京		動字 - 網五次四支 - 関一動で の - 関一の - 一の - 一の - 一の - 一の - 一の - 一の -		開西點二大		登場の	(本) (本)
第十七次 第十九										2000年	開開作	開開開	<b>阿斯斯</b>	利大路至二期上	院大監主。 開西點四十二	元 第二點   京		動学 - 網ュンロー - 第二年		開音動の大			中海日間
第十七次 第十九次 第七		開到不開	不開點		不不不		開土証	不不影		数第十四	開開作		<b>阿斯斯</b>	利大路至二期上		元 第二點   京		動字 - 網五次四支 - 関一動で の - 関一の - 一の - 一の - 一の - 一の - 一の - 一の -		開記點二大			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
第十七天 第十九天 第七二天 第	「		不算別数十分開資数不停開資数不停開資数	一點 一點 一點 一點 一點 一點 一點 一點 一點 一點	停停停	點 九二傳 開到開	點停開	停停開	<b>停停</b> 除	助至古 《 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	開開作	開開開	<b>阿斯斯</b>	到大點至二 開上午	院入點主之 開四點四十二	元 第二點   京		動字 - 網五次四支 - 関一動で の - 関一の - 一の - 一の - 一の - 一の - 一の - 一の -		原区站0大			中海日間
第十七天 第十九天 第七二天 第七十二大			序 開五點0大二十五十二十五十分	一點十分 所一點三 到三點五 二五 一點三 到三點五 二五 一五 一二 一二 一二 一二 一二 一二 一二 一二 一二 一二	停開二點三大 三古	監上の開工を表する。		佐田   大路三大  大路三古   開入路三大   大路三古   開入路二大   大大	停停 際	助五古 (本) 到十一點四四開上午八點開升五點至十五	開き場合大	開入路四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		到大點至士。		7、 第七點学人・開言點三大 別名點二本   併名點の次	いまた。 別の計画、別の計画と、別の計画とは、 別の計画、別の計画とは、別の計画とは、 別の計画には、別の計画とは、 別の計画には、別の計画とは、 ののでは、対面監を上面には、 ののでは、対面監を上面には、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	勝三		開記動二大			日間 中每日間 申与日間 大震 建工业每日期
第十七天 第十九天 第七二天 第七十二大			序 開五點 0大 二十六元六角五十六 開五點 0大 二十六元六角五十六 第五十六 第二十六元六角五十六	一點十分 開三點三士 二五元0至 士五千一點三到三點士 二五元0至 士五	停開一點三大 三十三九一川軍長 停開一點三去 三十三九五百五五			停門大點工工工工工工	停 游戏 1元八月 十九八月 十九八月 十九八月 十九八月 九元三月 九元三月 九元三月 九元三月 九元三月 九元三月 九元三月 九元三	野田古 (本) 到土 野田古田開上午入野開刊五郎五十五元八角 九里二十五元八角 九十五元〇五 元	開き動きする   「四元四角至 九四元四角至 九四元四角至 九四元四角至 九四元四角至 九四元四角至 八四元四角至 八四元四角至 八四元四角至 八四元四角   100元四角   100元	開入路の三十二元四月七二元四月七二元二角		到大點至二 開上午大點 七元01角 大元元4角 大元元4角 大	元月	九 第七點甲九 第三點三大 大元六角至 6分 第七點三上 第三點一大 第二十二 第三點 大	默四十一 第六點 主, 第二點 子至	動学 開き MP - MP	四个 河里 元十角	開き動の大	元 元 元 元 元 元 元		日間 車 毎日 間 車 毎日 間 一大
第十七天 第十九大 第七二大 第七十二大 早二元十月五九元八月三			李明显出图4年三十七元四角年上七十十年(中国四十二十六元六月五十六元六月五十六元六月五十六元六月五十六元六月五十六元六月五一八十十五十五元六月五十六元十二十五元六月五十六元	一點十分 開三點三十五 二十五元 金 十五元六千一點 三 到三點 宝 二十五元 金 十五元 三	停開一點三大 三十三九一川軍長 停開一點三去 三十三九五百五五			停門大點工工工工工工	停 院大弘二四 大元章	助室古 (本) 到十一點四古 開上 年八點 開 升五點至十五元八角 元元八角至 1-1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	開土職は十八 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	開入路四十二十二元四月十二元十角五十二元四月十二元五角五十二元二角十二元五角五十二元二角		到大點至十一開上午大點 九元七角 大元三角 机水路上	八、四角 電光・角玉 一九二角 三九三角玉 一九二角 三九三角 三九三角 三九三角 三九三角 三九三角玉	九 第七點甲九 第三點三大 大元八角至 國元三角至 分 第七點三五 第三點二人 第二十二 第二十二 第三點二人 第二十二 第三點二人 第二十二 第三點二人 第二十二 第三點二人 第二十二 第三二十二 第三三二二二 第三二十二 第三二二 第三二	默四十一 第六點 平大	動学 開き MP - MP	四个 河里 元十角	開き動の大	元 元 元 元 元 元 元	五角三角	日間 中海日間 中海日間 大震災を取得日間 足が日本・東西日東年の 中海日東 大震災の 中海の 一大震災の 中海の 一大震災の 一大震災の 中海の 一大震災の 中海の 一大震災の 中海の 一大震災の かんしゅう
第十七次 第十九次 第七十六 第七十二次 第二元十八十二次 第二元八月至十元次为第			李明显出现十二十六元《角五十六元》(角五一八八角五一十六元《角五十六元》(角五一八八角五一八元)(角五八元)(角五八元)(角五八元)(角五八元)(角五八元)(角五八元)(角五八元)(五五角五)(角)(	一點十分 開三點三十五 二十五元 0至 一五元六月 八元二年 作 開二點四十二十五元 3年 一五元六月 八元二年	停開一點三大 三十三九一川軍長 停開一點三去 三十三九五百五五		- **	停門大點工工工工工工	停降大點二十二十二元一角 五元五年 八十二元一角 五元五年 八十二元 八十二元 八十二元 八十二元 八十二元 八十二元 八十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元	野笠古 (本) 到十一點四古 開上午八點 開刊五點至十五元八角 九元八角至 五元二十五元 (本) 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	一門・衛門・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	開入點四十一 十二元四月 七元十角至 三元   何   四元   一元五角五   四元   四元   四元   四元   四元   四元   四元   四		到大點至十一開上午大點 十元01角 大元三角 机元十角 大元三角	八、四角 電光・角玉 一九二角 三九三角玉 一九二角 三九三角 三九三角 三九三角 三九三角 三九三角玉	九 第七點甲九 第三點三大 大元八角至 國元三角至 分 第七點三五 第三點二人 第二十二 第二十二 第三點二人 第二十二 第三點二人 第二十二 第三點二人 第二十二 第三點二人 第二十二 第三二十二 第三三二二二 第三二十二 第三二二 第三二	默四十一 第六数五天,	動学 開き MP - MP	四个 河里 元十角	が元が	元 <b>元</b>	五角三角	日間 中央日間 事徒日間 · 大量通子原料日本 · 及田安
第十七天 第十九天 第七二天 第七十二大 平二元十八月至 元六月至 元六月至 元六月至 元六月至 元六月至 元六月至 元六月至 元六	・	開西航空士 別七點三士 二九元二角三九元二角五元元十角五 一門四點の一 開六點三士 二九元二角五九元三角五元元三角五元二角五 二十九元角三十二元十角 元元二角五	李明显的四十二十六元大角王十六元大角五八元人角五四十二十六元大角王十六元大角五八元人角五四四十二十六元大角王十六元二角五八元七角至四四十二十五元大角王十六几	一點十分 開三點三士 二五元金 士元六月 八元二角五四十二點三到三點士 二五元金角 士元三角 八元一角五四	停開一點三大三十三九二四里五元0五 九元 停開一點三去三十三九三百三十三九三角 七元	路   九	· 點四十三 開土點五大 三十一元五角五十三元四角五 三元 1	停開入點点, 大元之角,二元之角, 云元角 三〇九點三四 開刊點五 大元之角,二元之角,云元间 三〇九點三四 開刊點五 大元二角 二一〇九點三四 開刊點五 大元二角 二一〇九點三四 開刊點 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1	停降大點二十二十二元一角 五元五年 八十二元一角 五元五年 八十二元 八十二元 八十二元 八十二元 八十二元 八十二元 八十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元 十二元	點至古 点者 到十二點四四開上午八點開升至點至十五元八角五 五元二角五 二六十五元四十五元八角五 五元二角五 二六	開き動き大    一門   一門   一門   一門   一門   一門   一門	開入路四十一 十二元八角五 八元 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		到大點至十二 開上午大點 十元01角 大元三角 三元三角至 一六元二角 五元二角五 二六二角五 二六二角五 二六二角五 二六二角五 二六	八、四角 電光・角玉 一九二角 三九三角玉 一九二角 三九三角 三九三角 三九三角 三九三角 三九三角玉	「開き駅中人・開き駅三大   一大元子角   一大元		動子 開产品です。 開一點0mm 第二十 一条下午一點 第二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一元十角至 一元十月 三元二角至 一元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三	四个一角里 二人角 二元二角 二元二角	一元五月五八角五八角五八角五八角五八角	一元四角 八角田 月	五角三角	日間 中海日間 事與日間 一大震荡之地将日期 是被日表 医蛋白素 条 是是我们,他们是我们是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个
第十七天 第十九天 第七二天 第七十二天 第二十二大 三二十二大 第二十二大 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	大 <b>身</b> 九點主,至二元至角至九元至角至,元三角至,元三角至 五二二十年,		李明显的84年三十五元《角王子元》(角至《元之角五四四三》) 第二點 1分 開五點 0大 二十六元《角王子元》(角至《元七角王四三二》 五十二十六元《角王子元》(角至《元七角王四三二人》 五十五元《角王子元》(	一點十分 開三點三士 二五元0金 玉元次月 八元三角玉 四一六 江路三到三點畫 二五元0金 玉元次月 八元一角玉 四〇七 巴	停開一點三去二十三九三四三九四角 三九四角 四九二十三九四角 三九四角 三九四角 三八四二十三九四角 三八四二十二十三九四角 三八四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二			停開入點点, 大元之角,二元之角, 云元角 三〇九點三四 開刊點五 大元之角,二元之角,云元间 三〇九點三四 開刊點五 大元二角 二一〇九點三四 開刊點五 大元二角 二一〇九點三四 開刊點 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1	停除大點二十二十二元一角 五元九角 二九八角 五元九角 二九八月 二元〇八角 五元五角 二八八月 二九五角 二九十角五 二九	點至古 点者 到十二點四四開上午八點開升至點至十五元八角五 五元二角五 二六十五元四十五元八角五 五元二角五 二六	開き動き大	開入點四十二十二元四月 七元十角至 二一〇七 第八點四十二 二二二十二元四月 七元十角至 二一八二 二 二〇七 二二二 二 二二二 二 二二二 二 二二二 二 二 二 二 二		到大點至十二 開上午大點 十元01角 大元三角 三元三角五 一六八 第一次元:角五 二六二角五 二六二角五 二六二角五 二六二角五 二六二	八、四角 電元三角 一四〇 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	八 第七點型大 - 開三點三大 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 -	默思于一洲六點至大,除二點子五 點 用六點子五 第一點子五 第二點子五 第二二角 第二元子角第二元子角第二八點四十 - 到五點子五 一對一點子五	動子 開产品です。 開一點0mm 第二十 一条下午一點 第二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一元十角至 一元十月 三元二角至 一元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三	四个一角 二元 角 二元 角 二元 角 二元 角	元為	一元四角 八角田 月	五角三角	日間 中海日間 中海日間 一头面面在100年日間 夏波日表 有個日表 夏季日表 养 是一个年代 中海
第十七天 第十九天 第七二天 第七十二大 年二元2月至十元八月至十元八月四 五二二 即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即即			李明至的四十二十六元大角至十六元大角至一元十八角五 四四二十二十六元大角至十六元大角至一元十角至 四二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	一點十分 開三點三五 二五元の金 ・五元8月 ・元元月五 四一六 ・ 一	停開一點三去三十三元三四三五元0至一八五元四三八四三十二十三元三四三二十三八四三十二十三八四三十二十三八四二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十			停開入點点,大元六角,二元六角,大元角,三〇九 學問入點主。大元六角,二元六角,大元二角,三〇九 學問入點主。大元六角,二元六角,大元二角,三〇九 學問於語至。大元二角。二元六角,大元二角,三〇二 學問於語	停降大點二點 大元五角 二元二角 五元五角 二九六 叶沙山山山 中原大點二點 大元五角 二元0二角 五元五角 二八七 医腹腔 医腹腔 医	助至古 (本) 到十二點中国開上午八點開升至點至一支元公角 元元八角至 二六二 口 い 殿 中間 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	開き動きすべ   「関での主 たんの五 の元く角   内	開入路四十一		到大點至十二 開上午大點 十元01角 大元三角 三元三角五 一六八 第一次元:角五 二六二角五 二六二角五 二六二角五 二六二角五 二六二	「元」の第二元の第二元の第二元の第二元の第二元の第二元の第二元の第二元の第二元の第二元	八 第七點型大 - 開三點三大 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 -		動子 開产品です。 開一點0mm 第二十 一条下午一點 第二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一部二十 一元十角至 一元十月 三元二角至 一元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三元十月 三	四个一角里。二十八角 一元 10月 一六 九 二元 10月 二元 10月 二元 10月 二元 10月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月	元三角三人角四〇一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	・ 一元	五角三角	日間 中毎日間 事毎日間 - 大量単年   東海日衛 - 東海日東 - 東西日東 - 東田田田東 - 東田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
第十七天 第十九天 第七十八 第七十八 第七十八 第二元 7月至九元八月至 1元八月至 1元八月 1五二二 1四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十			李明显的图在《十九元》的第一次元义为五人元义为五人元义为五人元义为五人元义为五人元义为五人元义为五人元义为五人	一點十分 開三點是去 三五元金 玉元次月 公元为第一四一六 行一點要到三點去 三五元金 玉元次月 公元为第一四一六 记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记记	停開しいます。 古で、川里宝元の金、元の金、四、二、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一			停開入點式,大元次9 二元次角。元二角 三〇九	停降大點二點 大元五角 二元八角 五元九角 二九九十十八十十四十四 八十二八十二八十二八十二八十二八十二八十二八十二八十二八十二八十二八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	野田古 (本) 到土 野田西開上午八野開刊五點至土東元公角 元元八角至 二六二 「八二 日 中殿 中殿 子 東元 (元) 「元二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		開入路四十二十二元の月 七元十角至 二八二		到大點至二 開上午大點 十元01年 元元4年 三元三角至 一六人 主非 新田田 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東京」では、「大川の東の東の東京の東の東の東の東の東の東の東の東の東の東の東の東の東の東の東の東	为一牌上點里大。	新四十一 第六點 主, 第一點主要 第一點主要 第一點 是元三角 第二元: 第二二 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	新子 開产品 1 4下午一點 第二日	四个 列車 二十八角 一元 月 六 九 回 三川 三郎 田子 中二州 五 六 九 三回 三郎 田子 中二州 五 六 二 三郎 田田 一郎 田子 中二州 五 六 二 三郎 田田 一郎 田子 中二 日 田子 中二 一郎 田子 田子 中二 日 田子 中二 一郎 田子 中二 一郎 田子 中二 一郎 田子 中二 日 田子 中二 日 田子 中二 日 田子 中二 一郎 田子 中二 日 田子	元三月の一大角の一大角の一大角の一大角の一大角の一大角の一大角の一大角の一大角の一大角	上元 四角 三角	五角三角三角	日間、中央日間、中央日間、大震災を保存。日間、東京日東、東京日東、東京日東、東京日東、東京日東、東京日東、東京日東、東京